

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	TAKUMIさいたま新都心教室		
○保護者評価実施期間	2025年12月1日		～ 2025年12月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27名	(回答者数) 14名
○従業者評価実施期間	2025年12月1日		～ 2025年12月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月16日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	運動療育を行っている	・プログラム内容を記録に残すなどして、プログラムが固定化しないようにしている ・個別での活動はもちろん、集団での活動も多く取り入れている	・研修に参加し、知識や技術を高めていく
2	季節を感じられるイベントを取り入れている	・玄関やフロアの装飾、音楽等からも季節を感じられるようにしている ・運動だけでなく、創作でも季節を感じることができる活動を行っている	・同じ季節でも、毎年新しい創作や運動を取り入れていく
3	指導員間で情報交換を密に行っている	・療育前後でミーティングを行っている ・保護者様からお話いただいたことを共有事項として、全指導員が把握している	・お子様の情報だけでなく、支援目標に対しての療育内容もより濃いものにしていく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・家族も参加できる研修や機会の提供がない	・保護者様にもご参加いただけるイベントは行っているが研修や情報提供の機会は取れていない。今までそのような事例がなかった為、機会を提供できていなかった	・「機会があれば、参加してみたい」との声も上がってきているので、本社や他教室にも話を聞きながら研修の場を提供していきたい
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 TAKUMIさいたま新都心教室

公表日 2026年 2月 28日

利用児童数 27名

回収数 14名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	12	2			・走りまわる時、危険だと感じる	・ご意見ありがとうございます。指導員間で検討し、人数を調整するなど引き続き安全にできる環境を整えてまいります。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	11	2	1		・少なく感じる時がある	・ご意見ありがとうございます。保護者様に安心してお子様を預けていただけるような教室運営に努めてまいります。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	13	1				
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	14					
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	12	2				
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	12	2				
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	12	2				
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	12	1		1		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	12	2			・子どもがどう成長しているかももう少し具体的に話をしてほしい	・貴重なご意見ありがとうございます。参考にさせていただきます。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	12		1	1		
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	4	1	6	3		
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	14					
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	13	1				
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	9	1	2	2	・家族支援会などをやってほしい	・貴重なご意見ありがとうございます。参考にさせていただきます。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	11	1	1	1		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	12	1	1		・子どもの生活相談ができる時間がたまにあるといい	・ご意見ありがとうございます。何かお困りごと等ございましたらいつでもご相談ください。フィードバックや面談の際にお答えいたします。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	13	1				
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	8	2	2	2	・保護者同士の交流がないので、あればいいと思う	・貴重なご意見ありがとうございます。参考にさせていただきます。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	9	1		1	3名記入なし		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	10	1			3名記入なし ・フィードバックの時、しっかり伝達してくれている	・とても嬉しいご意見ありがとうございます。引き続きご様子を詳しくお伝えさせていただきます。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	9	1		1	3名記入なし		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	10			1	3名記入なし		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	11				3名記入なし		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11				3名記入なし		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	11				3名記入なし		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	10			1	3名記入なし		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	10			1	3名記入なし ・運動と同じくらい、創作も楽しいといっている	・とても嬉しいご意見ありがとうございます。今後もお子様が楽しんで通所できるような教室運営に務めてまいります	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	9			1	1	3名記入なし ・イベントが楽しみで告知があるととても喜んでいる	・とても嬉しいご意見ありがとうございます。今後も楽しいイベントを企画していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	10	1			3名記入なし		

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		TAKUMIさいたま新都心教室				公表日	2026年 2月 28日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		・3クール制で、人数の調整ができています		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		・必ず3人以上配置している		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	2	・今まで仕切りで分けて活動を行っていたが、今年度より全員創作から運動をする流れになった。それによりやるべきことは分かりやすくなった	・運動と創作の場所を分かりやすくする必要がある	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		・毎朝掃除を行っている		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	1	・必要に応じて事務室や更衣室、面談室を使用している		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6		・1日の中で、「前回の様子」と「今日の様子」を必ず全員で共有している		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・保護者の要望や意向については、ミーティングで共有している		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・マネージャーとの個別ミーティングがある		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6		・書類等の確認をしていただき、助言に基づき業務にあたっている		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		・様々な研修を行っている		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		・利用者に応じた、プログラム、支援目標を作成している		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6		・保護者様との面談や職員間でのミーティングを基に作成している		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		・面談の前に指導員が情報共有をし、目標の振り返りと次回の目標について話し合っている。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		・療育前に、その日に来るお子様の支援情報を共有している		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		・統一した書類がある		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		・お子様一人ひとりに合わせた支援内容を設定している		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	1	・支援目標に基づいて、どのような運動をするか等話し合っている	・各々行うこともある。(しかし指導員間で情報共有をし支援の方向性を定めた上で活動プログラムを考えている。)	

快	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		・週によって担当の指導員が変わるため、様々なメニューが提供できている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6		・支援をする際には、ご来所されるお子様に合わせて個別活動と集団活動を組み合わせている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		・朝の打ち合わせで必ず確認をしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		・その日の気づきは、その日に共有し次回の支援に活かせるよう記録に残している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		・毎回、お子様の支援情報を打ち込み、その情報を元に支援内容等を考えている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		・日々のミーティングで支援計画の読み合わせを行い、必要に応じて支援計画の見直しをしている	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		・回数は多くないが参加している	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		・園、学校に訪問している	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		・電話をしたり、実際に訪問をしたりして共有をしている	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		・学校訪問に行った際に、学校の様子を聞き就学移行の際に話をしている	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6		・必要な時には設けている	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		6	・指導員が幼稚園や保育園に見学に行くことはある	・他のこどもと活動する機会がない
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		・療育終了後、フィードバックで共有している	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	2	・研修等はないが、親子イベントや毎回のフィードバック、面談等で対応方法を助言、共有している。	・研修は行っていない	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		・児発管が契約の際に話をしている	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		・面談を行い、ご家族のニーズを聞いている	

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6		・同意を得ている	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		・フィードバックの時にも家庭の様子を聞くようにしている ・児発管が必要に応じて電話や面談を行っている	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	2	・イベント内で兄弟同士、ご家族同士で楽しめるよう工夫している。 ・親子イベント等で交流の機会は設けている	・保護者会は開催していない
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		・何かあった際には、迅速に丁寧に対応するよう心掛けている	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		・LINEでお知らせをしている ・玄関にも掲示をして告知している	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		・決められた場所に置くなど留意している	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		・フィードバックは教室内で行っている	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		6		・そのような取り組みはしていない
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		・周知、訓練を行っている	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		・必要な訓練を行っている	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		・事前にお子様の情報を確認している ・変更等あれば、すぐに情報を訂正、また指導員間で共有している	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		・食事を提供することはないが、お菓子をプレゼントする際にはアレルギー表を掲示している	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		・訓練、研修を行っている	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		・契約時にお伝えしている	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		・指導員間で状況を共有している	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		・研修を行っている	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6		・契約時にお伝えしている		

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	TAKUMIさいたま新都心教室		
○保護者評価実施期間	2025年12月1日		～ 2025年12月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	50名	(回答者数) 27名
○従業者評価実施期間	2025年12月1日		～ 2025年12月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年1月20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	運動療育を行っている	<ul style="list-style-type: none"> ・プログラムの内容を記録に残すなどして、プログラムが固定化しないようにしている ・個別での活動はもちろん、集団での活動も多く取り入れている 	<ul style="list-style-type: none"> ・研修に参加し、知識や技術を高めていく
2	季節を感じられるイベントを取り入れている	<ul style="list-style-type: none"> ・玄関や運動フロアの装飾、音楽等からも季節を感じられるようにしている ・運動だけでなく、創作でも季節を感じることができる活動を行っている 	<ul style="list-style-type: none"> ・同じ季節でも、毎年新しい創作や運動を取り入れていく
3	指導員間で情報交換を密に行っている	<ul style="list-style-type: none"> ・療育前後にミーティングを行っている ・保護者様からお話いただいたことを共有事項として、全指導員が把握している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お子様の情報だけでなく、支援目標に対しての療育内容もより濃いものにしていく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族も参加できる研修や機会の提供がない	<ul style="list-style-type: none"> ・ご家族の方にもご参加いただけるイベントは行っているが、研修や情報提供の機会は取れていない。今までそのような事例がなかった為、機会を提供できていなかった 	<ul style="list-style-type: none"> ・「機会があれば参加したい」との声も上がってきているので、本社や他教室にも話を聞きながら研修の場を提供していきたい
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 TAKUMIさいたま新都心教室

公表日 2026年 2月 28日

利用児童数 50名

回収数 27名

	チェック項目	回答				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	24	3			・もう少し広さがあったほうがいい ・室内は、十分に快適で設備が行きとど いている。野外活動もあったらいい。	・ご意見ありがとうございます。指導員 間で共有しまして、お子様がのびのびと 活動できる環境を整えてまいります。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	24	3			・指導員の人数が少ないと感じるときがある	・ご意見ありがとうございます。人数に つきまして申し訳ございません。保護者 様に安心してお子様を預けていただける ような教室運営に努めてまいります。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思 いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や 情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	26	1				
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。 また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	26	1			・とてもきれいだと思う	・ご意見ありがとうございます。引き続 きお子様が過ごしやすい教室作りをして いきます。
適切 な支 援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援 が受けられていると思いますか。	26	1				
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と 合っていると思いますか。	26	1				
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分 析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されて いると思いますか。	26	1				
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの 「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支 援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適 切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いま すか。	24	1		2		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	24	1		2		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いま すか。	26					
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会 がありますか。	2	1	15	10	・交流の機会はなくていいと思う ・必要とは思わない	・貴重なご意見ありがとうございます。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等につ いて丁寧な説明がありましたか。	26				1名記入なし	
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされま したか。	24			3		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニ ング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていま すか。	15	4	3	5	・機会があれば参加してみたい	・貴重なご意見ありがとうございます。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状態に ついて共通理解ができていますか。	25	1	1			
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	25	1		1		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	26	1				
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流 の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだ い向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けら れるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	9	9	3	6			

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	20	3		4	
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	25	1		1	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	17	1		9	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	25	1		1	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	25	2			・子どもの避難場所を掲示してほしい ・貴重なご意見ありがとうございます。玄関に掲示させていただきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	27				
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	25	1		1	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	20	2		5	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	24	3			・優しい先生が多く、安心感がある ・嬉しいご意見ありがとうございます。引き続き、保護者様が安心して預けることのできる教室を目指してまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	24	3			・工作や子どもの意見を聞いてくれるので行くのをもっと楽しみにしている ・嬉しいご意見ありがとうございます。引き続き、お子様が「楽しい！」と思えるメニューを提供してまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	26	1			

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		TAKUMIさいたま新都心教室			公表日		2026年 2月 28日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		・比較的広い			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		・基準の配置は満たしている			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	2	・児童に向けた掲示物、例えばお約束については、絵やイラストを入れて分かりやすく掲示をしている	・支度のスペースが狭いと感じるときがある		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	2	・運動スペースは広いため、活動に合わせて運動を決めている	・壁が汚れている		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	1	・面談室、更衣室を適宜使用している			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6		・療育前と後にミーティングを行っている			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・保護者様からの要望や意向についてはミーティングで共有している			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・マネージャーとの個別ミーティングがある			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6		・ご指導いただき、業務の改善に努めている			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		・様々な研修を行っている			
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		・利用者一人ひとりに応じた、支援目標が立てられ、プログラムも作成している			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		・保護者様の希望に基づき支援計画を作成している			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		・児発管と指導員が話をする時間を設けている			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		・事前に支援計画の共有を行ったうえで、療育を行っている			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		・統一した書類がある			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		・お子様一人ひとりに合わせた支援計画を立てている			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	1	・支援計画に基づき、プログラムを作成している	・プログラムを考える時には一人で考えるときもあるが、支援の方向性については指導員間で共有している		

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		・支援記録を見て、プログラムが固定化しないようにしている	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		・その時のお子様の状況に合わせて、個別と集団での活動を分けて行っている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		・日曜日に役割分担について共有をしている ・療育前のミーティングで支援の仕方について共有をしている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		・療育終了後に、ミーティングを行っている ・気づいたことがあれば、そのミーティングの際に伝えてもらうようにしている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	1	・データで残している	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		・更新のタイミングに合わせて支援計画の見直しをしている	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6		・ガイドラインに基づき支援にあたっている	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		・お子様に選んでもらう活動も、療育の中で取り入れている	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		・回数としては、多くないが参加している	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		・電話や訪問を行い共有をしている	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		・学校や園訪問に行った際に、共有をしてもらっている	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	1	・園見学の際に、情報共有をしている	・保育園や幼稚園に行くことはあるが、就学前の園には追えていない
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6			・現状そのようなお子様はいない
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6		・児発管が行っている	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6			・他のお子様と活動する機会がない
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6			・協議会に参加する機会はない
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		・療育終了後に、ミーティングを行っている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	1	・研修等は行っていないが、保護者様が参加できるイベントを行っている	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		・面談や相談支援の際に説明を行っている	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		・面談時に意向を聞いている	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6		・同意を得ている	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		・必要に応じて面談を行っている	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	4	2	・少ないがイベントを行っている	・父母会は行っていない
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		・何か相談があったときには、指導員間で共有をし迅速に対応している	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		・ライン、インスタ等を用いて行っている	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		・決められた場所に、置いている	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		・フィードバックの時に教室内で行っている	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		6		・そのような取り組みを行っていない
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		・周知をしている	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		・必要な訓練は行っている	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		・情報を共有している ・変更があれば確認をしている	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1	・お菓子を配布するときには、アレルギーの表示を掲載し対応している	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		・必要に応じて研修や訓練を行っている	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		・契約時にお伝えをしている	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		・方策について、検討し共有をしている	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		・研修を行なっている	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6		・契約の時にお伝えをしている		